

2025 年 7 月 2 日

関係各位

(公財) 日本ハンドボール協会
指導普及本部長 藤本 元
指導委員長 船木 浩斗

日本スポーツ協会公認指導者資格取得に向けたガイドラインについて

公益財団法人日本ハンドボール協会（以下 JHA）指導委員会では、2027 年 4 月からの公益財団法人日本スポーツ協会（以下 JSPO）公認指導者資格保有義務化の完全実施に向けて（追加移行措置期間 2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）、JSPO 公認指導者資格取得に関するガイドラインをまとめました。

今年度より、2 つの大会（国民スポーツ大会および U-15 ジュニアセレクトカップ）においては、出場するチームの役員に JSPO 公認コーチ 3 以上が必要となりますので、改めてお知らせします。

詳しくは以下をご覧ください。

1. 資格保有義務化に該当する資格および規則について

JSPO 公認指導者資格のうち「コーチ 1～4」「スタートコーチ」「スポーツコーチングリーダー（旧コーチングアシスタント）」を取得している人が、年間登録時の役員の中に 1 人以上いることが必要である（ハンドボールに限らず、他種目でも可）。

2027 年から指導者資格保有義務化が完全実施された場合は、JSPO 公認指導者資格保有者が 1 人もいない場合には、年間チーム登録ができない。

全国小学生大会においてはすでに、ベンチ入り役員に JSPO 公認指導者資格の保有が義務付けられている。また、2025 年からは国民スポーツ大会（国スポ）および U-15 ジュニアセレクトカップ（JSC）においては、ベンチ入り役員に 1 名以上のコーチ 3 以上の資格保有者が求められることになった^{※1}。

なお、JSPO 公認指導者資格は 4 年間に 1 回の更新講習を受講し、資格更新手続きをしなければならない。

2. JSPO 公認指導者養成講習会について

(1) 「コーチ 1」養成講習会

「コーチ 1」とは、指導員の新名称であり、都道府県体育・スポーツ協会が主催・募集し、都道府県ハンドボール協会が主管する講習会である（開催希望制）。

受講者は、共通科目として JSPO が実施する 45 時間のオンライン講習を、また専門科目として都道府県ハンドボール協会が実施する 20 時間の集合講習会を受講する。

^{※1} 国スポにおいては監督がコーチ 3 または 4 保有者であることが必須、JSC においては監督がコーチ 3 または 4 保有者であることが望ましい

受講する際に、共通科目受講料として 18,040 円（リファレンスブック代含）、専門科目受講料として 15,400 円＋ α （テキスト代などを含）が必要となる。また、資格登録する際に、基本登録料として 10,000 円、初期登録手数料として 3,300 円が必要となる。

専門科目の集合講習会は、都道府県ハンドボール協会指導委員長が推薦する指導者（「コーチ 3」以上の資格保有者）が担当し、そのカリキュラムおよびテキストは JHA 指導委員会指定のものを使用する。

(2) 「コーチ 2」養成講習会

「コーチ 2」とは、上級指導員の新名称であり、都道府県体育・スポーツ協会が主催・募集し、都道府県ハンドボール協会が主管する講習会である（開催希望制）。

しかし、JHA 指導委員会はこれまで、「コーチ 2」よりも「コーチ 3」の取得を推奨してきた経緯があり、今後も引き続き「コーチ 1・3・4」および「スタートコーチ」の取得を推奨する。

(3) 「コーチ 3」養成講習会

「コーチ 3」とは、コーチの新名称であり、JHA が主催・募集し、JHA 指導委員会が主管する講習会である（基本的には、年に 1～2 回開催）。

受講者は、共通科目として JSPO が実施する事前学習・集合講習会（対面またはウェブ）・事後学習（合計 150 時間）を、専門科目として JHA 指導委員会が実施する事前学習・集合講習会（対面）・事後学習（合計 60 時間以上）を受講する。

受講する際は、共通科目受講料として 22,000 円＋リファレンスブック代（3,300 円（紙版）または 2,640 円（電子版））、専門科目受講料として 14,000 円＋ α （テキスト代などを含）が必要となる。また、資格登録する際に、基本登録料として 10,000 円、初期登録手数料として 3,300 円が必要となる。

さらに、共通科目および専門科目の集合講習会（対面）に参加する場合、交通宿泊費が必要となる。

専門科目の集合講習会は、JHA 指導委員長が推薦する指導者（原則、「コーチ 4」以上の資格保有者）が担当する。

(4) 「コーチ 4」養成講習会

「コーチ 4」とは、上級コーチの新名称であり、JHA が主催・募集し、JHA 指導委員会が主管する講習会である（3～4 年に 1 回開催、2024 年に開催予定）。

受講者は、共通科目として JSPO が実施する事前学習・集合講習会（対面またはウェブ）・事後学習（合計 151 時間以上）を、専門科目として JHA 指導委員会が実施する事前学習・集合講習会（対面）・事後学習（合計 80 時間以上）を受講する。

受講する際は、共通科目受講料として 30,800 円、専門科目受講料として 17,600 円＋ α （テキスト代などを含）が必要となる。また、資格登録する際に、基本登録料として 10,000 円、初期登録手数料として 3,300 円が必要となる。

さらに、共通科目および専門科目の集合講習会（対面）に参加する場合、交通宿泊費が必要となる。

専門科目の集合講習会は、JHA 指導委員長が推薦する指導者（原則、海外の優秀な指導者を招

聘)が担当する。

「コーチ 4」を受講するためには、「コーチ 3」を保有していることなどの条件がある。受講申込者のうち、JHA の審査で認められた者が受講できる。

(5)「スタートコーチ」養成講習会

「スタートコーチ」とは、2020 年度から新たに設けられた資格であり、JHA が主催し、都道府県ハンドボール協会が募集・主管する講習会である（開催希望制）。

受講者は、7.5 時間の集合講習会（共通科目・専門科目、対面・オンライン・オンデマンド）を受講する。

受講料として、3,000 円＋α（テキスト代などを含）が必要となる。資格登録する際に、基本登録料として 10,000 円、初期登録手数料として 3,300 円が必要となる。

集合講習会は、都道府県ハンドボール協会指導委員長が推薦する指導者（コーチ 3 以上の資格保有者）が担当し、そのカリキュラムおよびテキストは JHA 指導委員会指定のものを使用する。

※「スタートコーチ」には、競技別の「スタートコーチ（ハンドボール）」のほかに、教員免許状所持者向けの「スタートコーチ（教員免許状保持者）」と、スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・学校運動部活動等に関わる指導者向けの「スタートコーチ（ジュニア・ユース）」があり、いずれも JHA の JSPO 公認指導者資格保有義務化における対象資格となる

(6)「スポーツコーチングリーダー」養成講習会

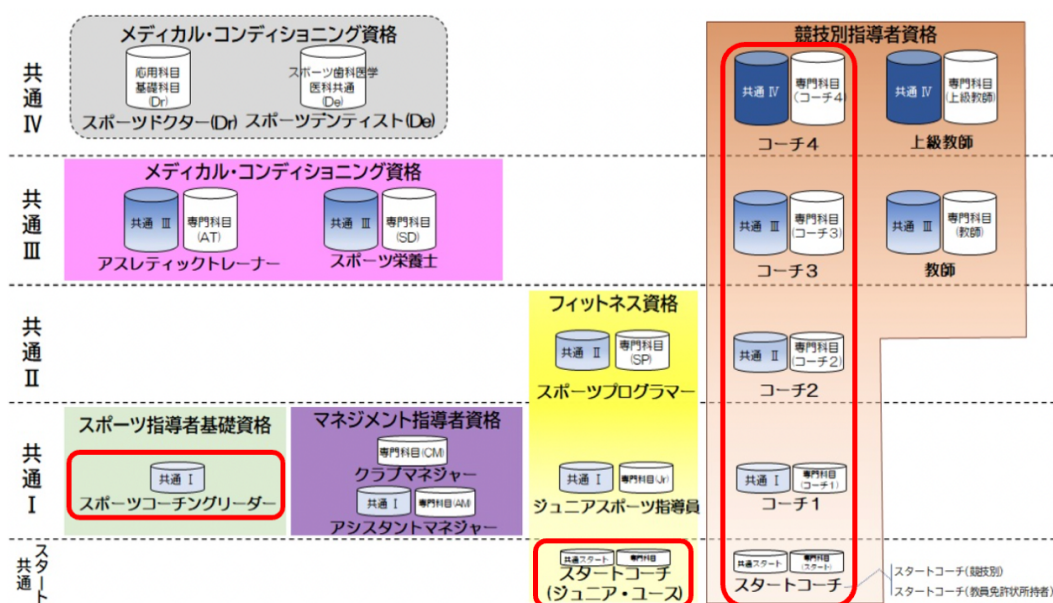
「スポーツコーチングリーダー」とは、「コーチングアシスタント」に代わるスポーツ指導者の基礎資格であり、JSPO 関連団体が実施する。

受講者は、JSPO 関連団体が実施するオンライン講座または集合講習を受講する。

オンライン講座の場合、受講料として 15,400 円＋テキスト代 2,640 円が必要となる。集合講習の場合の受講料などは JSPO 関連団体が決定する。資格登録する際に、基本登録料として 10,000 円、初期登録手数料として 3,300 円が必要となる。

「コーチングアシスタント」の資格を保有している者は、申請手続きのみで「スポーツコーチングリーダー」に資格移行をすることができる。

JSPO 公認指導者資格の一覧表



3. 都道府県ハンドボール協会への連絡事項（各種養成講習会の開催について）

(1) 「コーチ 1」養成講習会

毎年 1 月下旬に、都道府県体育・スポーツ協会から都道府県ハンドボール協会に対して、次年度受講希望調査が届く。参加希望者が 10 名以上いる場合に、JSPO は講習会開催希望を受理し、JSPO 委託事業となり補助金が支給される。

専門科目の集合講習会開催が認められたら、都道府県ハンドボール協会指導委員長は JHA 指導委員会に開催計画書を提出する。開催計画書内における講習会のカリキュラムは、JHA 指導委員会が提示するカリキュラムを参照して作成する。

専門科目の集合講習会は、宿泊を伴う週末の集中開催・週末の複数日開催・平日夜間のカリキュラム毎開催など、都道府県の実情に合わせた方法を採用してよい。また、集合講習会を開催するための必要経費は、都道府県体育・スポーツ協会から概算払いで支給される。

都道府県ハンドボール協会指導委員長は、「コーチ 3」以上の資格を保有している指導者の中から専門科目の集合講習会を担当する講師を決める。都道府県内の指導者の中から選ぶことを推奨するが、県外指導者を招聘する場合には JHA 指導委員会の指導者バンクを活用してもよい。

(2) 「コーチ 3」「コーチ 4」養成講習会

毎年 2 月下旬に、JHA 指導委員会から都道府県ハンドボール協会指導委員長に対して、次年度受講希望推薦調査が届くので、それを 3 月中旬までに返信する。3 月末に次年度の受講者が決定する。その後の手続きは受講者本人が進める。

基本的に、「コーチ 3」講習会については 1 年に 1～2 回、「コーチ 4」講習会については 3～4 年に 1 回開催している。

(3) 「スタートコーチ」養成講習会

毎年 1 月下旬に、JHA 指導委員会から都道府県ハンドボール協会に対して、次年度開催希望調

査が届く。都道府県ハンドボール協会指導委員長は、県内の意向を踏まえ、開催計画書を JHA 指導委員会に提出する。「スタートコーチ」養成講習会は JSPO 委託事業とはならないため、補助金が支給されない。

講習会を開催するための必要経費は、受講者から徴収し、そのうち受講料（3,000 円）を JHA に振り込む。受講料以外に集める金額は都道府県ハンドボール協会で設定する（会場借用費、講師謝礼金、テキスト代など）。

都道府県ハンドボール協会指導委員長は、コーチ 3 以上の資格を保有している指導者の中から講習会を担当する講師を決める。都道府県内の指導者の中から選ぶことを推奨する。

講師は、JHA 指導委員会が制作した資料を用いて講義を進める。

(4)「スタートコーチ（教員免許状取得者）」養成講習会

この講習会は、都道府県ハンドボール協会が開催するスタートコーチ（ハンドボール）とは異なるものである。ハンドボール競技に関わる内容は一切なく、スポーツ全般に関わるオンラインテストおよびハラスメント防止動画を視聴する。講習会に出向く時間を割けない方などで資格取得希望者がいる場合、個人で JSPO ホームページにアクセス・受講を申し込む。

(5)「スタートコーチ（ジュニア・ユース）」養成講習会

この講習会は、都道府県スポーツ少年団が主催するものである。そのため、資格取得希望者がいる場合、個人で JSPO や都道府県スポーツ少年団に問い合わせ・受講を申し込む。

(6)「スポーツコーチングリーダー」養成講習会

この講習会は、JSPO 関連団体がオンライン講座または集合講習で実施する。そのため、都道府県ハンドボール協会が講習会を開催する必要はない。資格取得希望者がいる場合、個人で JSPO ホームページにアクセス・受講を申し込む。

4. 資格移行対象者への連絡事項

(1)「コーチングアシスタント」から「スポーツコーチングリーダー」への移行

JSPO ホームページに掲載されている「公認スポーツ指導者資格免除申請マニュアル」を参照し、手続きを進める。

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html#scl>

5. 資格更新講習会について

上述したすべての資格は、4 年に 1 度更新講習会を受講し、資格更新手続きをする必要がある。

更新講習会として認められる講習会は、JSPO や都道府県体育・スポーツ協会が主催するさまざまな講習会・研修会をはじめ、JHA が主催する中央講習会、都道府県ハンドボール協会が主催する指導者講習会などである（都道府県ハンドボール協会が主催する指導者講習会を更新講習会とするためには、別途申請手続きが必要になる）。

また、「スタートコーチ」養成講習会を申請手続きによって、更新講習会とすることができる。これにより、「スタートコーチ」養成講習会と更新講習会を一度に開催することができ、主管協会の人的・時間的・経済的負担を軽減できる。

(2020 年 4 月 1 日 初版)
(2020 年 5 月 17 日 第二版)
(2020 年 8 月 4 日 第三版)
(2021 年 2 月 1 日 第四版)
(2021 年 4 月 1 日 第五版)
(2022 年 1 月 21 日 第六版)
(2022 年 2 月 1 日 第七版)
(2023 年 12 月 6 日 第八版)
(2024 年 5 月 28 日 第九版)
(2025 年 7 月 2 日 第十版)

問合せ：(公財) 日本ハンドボール協会指導委員長 船木浩斗
h-funaki@sass.chukyo-u.ac.jp